
遊戯王GX 転生者は我が道を行く

大禍時悪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王GX 転生者は我が道を行く

【Nコード】

N8087Z

【作者名】

大禍時悪

【あらすじ】

普通の会社員であつた黄衣王真おついおうましかし通勤途中、神様のうつかりにより死んでしまう。

そんな事実を聞かされても飄々と死を受け入れる王真に神様は居た堪れなくなつたのか、お詫びとして第二の人生を歩ませようとするのだが、その人生の行き先は……遊戯王GXの世界であつた……。

製作者の大禍時悪です最初に私には文才が一切ございませんしタ

クテイクスも拙いにも程があるほど酷いですが、そんな事を許せる方はどうぞご贔屓に……オリカについてはアニメで出てきた物以外は使う予定はございません。

禁止制限等は9月現在の物を規定にさせていただきますが、改訂の度にデッキを弄って行きたいと思っています。

プロローグ

こんにちは、黄衣王真です。何故皆さんに挨拶しているのかと言うと、只今絶賛死亡中です

幽体離脱的な事になっていきます恐らく自分であろう血まみれで首が無く臓物が飛び出してミンチになっています。

凄惨な状況だねこれ、自分の体だと思いたくないねでもまあ諦めるしかいさ、だって自分の頭が向こうの方に転がってるんだもの、ああ……俺の原付が高かったのにフレーム粉々じゃん。や、もう乗れないから別にいいといえはいけど……。そんなことより凄いいね吸水コンクリート、俺の身体から流れ出る血液がどんどん吸収されるよもうすぐ失血するんじゃないかな？ や、もう死んでるから失血しても問題はないんだけどね。

「あゝモノローグの途中で申し訳ないのだが……ちょっといいかい？」

気付かなかったけどいつの間にか白髭で白髪のお爺さんがいらつしやいました。ああお爺さんと言っても俺のお祖父さんじゃないよ

「ああ、はいなんでしょう？ て言うか何故に俺の姿見えてんのか死んでるはずだよね俺」

「うん間違いなく死んでるよ、だってワシが間違って殺しちゃったし」

「あれ？　じゃあもしかして俺を挽いた10トントラックの運ちゃんなの？」

「何でその方向に考えが行くのかとても疑問だし第一にひくの漢字を間違えてる気がするのだがのう……ところでワシが神様じゃ」と言ったらどう反応してくれる？」

神様？　がそういうと王真はジツと神様？　を見つめてからふむむと小さくうなずく。

「ああスミマセン神様って皆の想像した通りの長い白髭の老人なんだと、今しみじみと思ってたました死んでからこんな体験が出来るとはちよつとしたラッキーですね」

「死んだのにラッキーっていう君は変わってるねえ」

神様は若干引き気味でなおのほほんと王真に対して言った。

「ああ気にしませんよ変わってるってよく言われますし。それで神様が俺を殺したってどういうことで？」

「その事なんじゃがな、今日死んでしまう人間にチェックをつけていくんじゃけれどもね、ちよつとうとして間違えて君の名前にチェックうつっちゃったんじゃよ少なくとも後60年は生きるはずじゃったのだけれども……」

神様はちよつと気まずそうにこつちをチラチラ見ているが王真は気にせずに。

「ああ……まあ仕方ないですよ誰しも間違いはありますし気にしませんよ、てことは俺って地獄に行ったりするの？ お世辞にも天国に行けるような良いことなんて全くやってないんだけどさ」

「加害者のワシが言うのもなんなのじゃがまずは怒ったりはしないのかい？ それに目をつけるところが違いすぎないかの、普通なら残りの寿命の分のどうするんだとか、まだやり残した事があると憤りをぶつけてくるのこのう君は随分ドライなんじゃな」

「ドライ……と言うべきなのか単純に今現在こうして死んでいるので受け止めるしかないと言うかなんと言うか」

王真は若干戸惑いながらも答えるが表情は笑っている、正直薄々気付いてはいる自分が同じ年頃の人よりも冷めた事しか考えられないことくらいは。

「じゃあ聞いてみようかな？俺の寿命おおよそ60年どうします？まあ生き返れる訳では無いですよ、ほら元の体は首が飛んで臓物が挽き肉みたいにミンチになってるし」

「ああその事なんじゃがの生き返る……すなわち転生じゃな、この世界に転生するのはまず不可能じゃな。死んだ人間の情報を引き継いだ人間を作るとじゃないいくつかの矛盾が生じてしまうのじゃよ詳しくは秘密じゃがな、しかし……別の世界なら可能じゃな存在しないものを一から作るだけじゃからな」

なんか一から作るだけとかものすごいことを言ってるけど多分神様だからできるんだろう。

「別世界と言うとパラレルワールド的なものかなそれならそれ

で……」

「ふむ……それでもよいが辛いのはお前さんじゃぞ自分は知っていても相手は知らんからのう……ところで君はアニメやゲームは好きかの？」

「ええまあ人並みには好きですね」「いかんとは思ったのじゃが少し記憶を見せてもらったが遊戯王というアニメをよく見てるようじやな」

「まあ好きですねでも勝手に記憶みんなや神さんよ……遊戯王かいいですね世界としてはGXの世界がいいですけど決めるのは神様ですけどね」

「いやいや構わないよ出来る限りの我儘は聞いてあげるつもりじやよ」

「ああそれではとりあえず運動能力と頭脳はある程度もらえると嬉しいですね、今まで出たカードを各10枚ずつ現時点の俺のデッキとこれから出るカードを発売日に各10枚づつもらえると嬉しいですね。」

「ふむそれくらいなら全て叶えられそうじゃわい遊戯王GXの世界の一番最初入学試験の一週間前に目を覚まさせるようにしよう、その世界の前情報を脳の中につ込んでおくからの後は困った時は連絡できるようにしておこう正し無茶なお願いは禁止じゃよ……すぐに転生を始めるそれでは良い第二の人生を」

「ちよつとタンマ最後に一つ何から何までありがとうございましたまたいずれ声を聞くとします」

そして俺の黄衣王真は第二の人生を遊戯王GXの世界にて始めることになった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8087z/>

遊戯王GX 転生者は我が道を行く

2011年12月26日22時56分発行